

総括

■ 機能種別

主たる機能種別「一般病院2」及び副機能種別「緩和ケア病院」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および1月24日～1月25日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

機能種別	一般病院2	認定
機能種別	緩和ケア病院（副）	認定

■ 改善要望事項

- ・機能種別 一般病院2
該当する項目はありません。
- ・機能種別 緩和ケア病院（副）
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は理念に「皆さまの安全・安心に配慮した良質な医療を提供いたします」を掲げ、地域に医療を提供している。山口市・岐阜市北部・関市北西部で、二次救急機能を担い、急性期の医療や乳がん、消化器分野の診療を積極的に展開するとともに、予防医療や健康増進活動に積極的に取り組んでいる。

今回の病院機能評価の受審においては、病院長をはじめ病院幹部のリーダーシップのもと、病院の質向上に継続して取り組んでいる状況が確認できた。一方で、今後取り組むべき改善点など、いくつかの課題も見られたため、今回の受審を機に引き続き一丸となって病院機能の向上に取り組み、貴院が益々発展することを祈念する。

2. 理念達成に向けた組織運営

理念・基本方針を明文化し、定期的に理念を見直し、適切に院内外に周知している。病院管理者や幹部は、病院経営の状況、課題の把握と解決への取り組み等、リーダーシップを発揮している。意思決定会議や委員会の運営、中期計画や事業計画の策定、各部門の目標管理体制などが整備されてる。電子カルテを運用し、情報システム管理、システム障害への対応体制などを整備し、安全に運用している。事務的文書や診療情報、各種基準・手順、診療関係マニュアル等を管理する仕組みがあ

る。

医療法や施設基準に必要な人材を確保しているが、病院機能等を鑑み、継続的に人材確保に取り組むことを期待したい。人事・労務管理体制を整備しており、職員の安全衛生管理体制は適切である。職員の意見を聴取し、職場環境への反映、福利厚生制度の充実を図るなど、職員にとって魅力的な職場となるよう取り組んでいる。全職員を対象にした教育・研修は年度計画を策定して実践しているが、患者の権利や臨床倫理に関する研修の充実を期待したい。職員が院外の研修等に参加する体制を整備している。また、人事考課制度で職員の能力の把握や評価を実施し、専門的能力の向上を図り、資格取得の支援体制も整備している。

3. 患者中心の医療

患者の権利と責務を管理者会議で決定し、周知を図っている。説明と同意に関する手順が定められ、同意が必要となる診療行為の範囲は具体的に示めされているが、新規作成・改訂の承認に関するルールの整備を期待したい。医療福祉相談室に専従職員を配置し、相談内容に応じて多職種が協働して対応している。個人情報保護に関する規程を整備し、個人情報の保護に努めているが、診療情報の貸し出しルールについて、検討することを期待したい。倫理委員会を設置しているが、臨床現場における解決困難事例などについて、組織的に対応する仕組みの構築を期待したい。

敷地内には、一般患者用や障害者用の駐車場およびタクシー乗降場、バス乗り場が整備されている。外来ホールには看護職員を配置し、高齢者や障害者の案内、誘導支援など高齢者や障害者に配慮して適切に対応している。院内は整理整頓され、敷地内は全面禁煙としており、ホームページや入院案内等により患者・家族、職員等に周知している。

4. 医療の質

患者・家族からの意見・要望等は、院内に設置された意見箱、来院者からの意見、患者満足度調査などから収集している。各診療科や病棟では定期的にカンファレンスを開催し、診療ガイドラインは部門で活用している。クリニカル・パスは、バリエーション分析し、見直しに繋げるなど、診療の質の向上に向けた取り組みを期待したい。院内各部署において、業務の質改善に取り組んでいるが、病院全体として組織横断的で、継続的な活動を期待したい。新しい診療・治療・技術の導入、薬剤の適用外・未承認薬の使用に際しては、倫理面や安全性などについて病院として組織的な検討を経て対応することを期待したい。

ベッドネームには主治医と受け持ち看護師の氏名が明記され、患者の療養環境やケアの状況などを把握し、多職種と情報共有に努めるなど、診療・ケアの責任体制を明確にしている。医師・看護師は、患者の病状に応じて、必要な情報を遅滞なく記載している。診療記録の質的点検の充実を期待したい。ICT、NST、褥瘡対策チーム、緩和ケアなど多職種で構成された専門チームがアセスメントシートや患者カンファレンスから問題を抽出し、多職種が協働して患者の診療・ケアにあたってい

る。

5. 医療安全

医療安全管理室に医療安全管理者を専従配置し、多職種で構成された医療安全推進対策委員会を設置している。インシデント・アクシデント報告は、電子カルテ上の報告システムを利用し、医療安全管理室にすべて報告され、分析・検討している。

外来では、受診票のバーコード認証と患者自身にフルネームを名乗ってもらうことで患者確認を行っているが、手術時のマーキングの徹底を期待したい。投薬・注射などの指示は、電子媒体を用いて行われ、実施状況が確認できる。病理診断および画像診断の所見は、確実に医師に検査結果が伝わる仕組みである。薬剤のアレルギーマニエラは電子カルテの機能を用いて適切にチェックされ、抗がん剤などは安全に管理されている。救急カートに配置している向精神薬や、ハイリスク薬の投与方法については見直しを期待したい。転倒・転落防止マニュアルに基づき、入院時に全患者を評価し、必要に応じて予防策を実施している。医療機器管理マニュアルが整備され、医療機器のメンテナンスなどに対応している。新人看護職員や中途採用者などを対象者に、臨床工学士が研修を実施している。院内緊急コードが整備され、患者の急変時に対応する体制を整備している。

6. 医療関連感染制御

感染対策室に感染管理認定看護師を専従配置し、医師と薬剤師、臨床検査技師とともに感染制御にあたっている。感染対策委員会を定期的開催し、院内における感染症の発生状況や課題の検討、対策などについて審議し、適宜マニュアルの改訂も行っている。感染対策チームは、各部署の感染対策の状況を把握している。感染管理者は、院外の感染情報を収集し、委員会や電子カルテのグループウェアを用いて院内に周知している。部門別サーベイランスの充実を期待したい。

院内感染対策マニュアルに基づき、感染経路別予防策が実施されている。手指消毒の実施状況をモニタリングし、臨床現場にフィードバックしている。抗菌薬の採用・採用中止は薬事委員会で検討している。カルバペネムや抗 MRSA 薬は届け出制としており、抗菌薬の適正な使用に取り組んでいる。周術期の予防的抗菌薬は100%投与しており、耐性菌が検出された場合は感染対策室で検討している。

7. 地域への情報発信と連携

地域に向けて広報誌を定期的に発行し、病院機能の紹介、各診療科の担当医、診療実績、その他に医療に関する情報を発信している。ホームページは内容を充実させ、適時の更新を期待したい。地域医療機関との連携は、医療機関・施設の機能やニーズを把握し、登録施設への情報発信、年間130回を超える医療機関の訪問等により顔の見える関係構築に努めている。また、登録医用のホットライン回線を設置し、紹介元には即時に返信するなど、迅速かつ効率的に紹介患者の受け入れを管理している。

地域住民の健康増進と予防医療の活動として、岐阜市農業祭りや市が主催する健康講座に講師として認定看護師などを派遣し、地域住民に対して医療に関する教育・啓発活動を行っている。巡回健診バスを3台保有し、企業・住民検診や、経鼻内視鏡検診、乳がん検診を積極的に推進するなど、地域に向けた医療に関する啓発活動は高く評価したい。

8. チーム医療による診療・ケアの実践

受付から会計までの対応は、電子カルテ等で円滑に対応している。初診時や予約外受診時は、AI問診票を活用し、紹介患者の紹介状や画像は電子カルテに取り込み、円滑な診療を行っている。医師は医学的根拠に基づいて診断的検査の必要性を判断し、患者・家族に説明し、同意を得て入院を決定している。医師・看護師は速やかに入院治療計画書を作成しているが、多職種が関与し、計画内容の充実を期待したい。患者相談窓口では、MSW、保健師、退院調整看護師などが多様な相談に対応している。入退院支援センターで入院に関する心配や要望などを聞き取り、病棟と連携している。

医師、看護師は病棟回診の実施や基準・手順に基づき、診療・ケアを提供しており、適切である。抗がん剤の調製や中心静脈栄養の混合は薬剤師が対応し、注射時はバーコード認証により、安全性を確保している。また、輸血・血液製剤は、誤認防止の手順を遵守して確実・安全に輸血を実施している。周術期の対応は、カンファレンスなどで適応やリスクを検討した後、手術・麻酔について患者・家族に説明し、同意を取得しているが、病院の機能を鑑みると、より積極的な麻酔医の介入を期待したい。重症患者は、病棟のナースステーションに隣接した個室において、各種モニター監視下で管理している。全入院患者に日常生活自立度を評価し、対象患者に看護計画を立案している。栄養アセスメントから必要な患者に栄養管理計画書を作成し、NSTが介入している。症状緩和基準を整備し、疼痛などに対するケアを行っている。リハビリテーション対象者は多職種カンファレンスで検討し、必要性の評価および計画を立案し、情報共有しているが、確実に必要性とリスクについて説明することを期待したい。行動制限マニュアルを整備し、フローチャートに沿って身体抑制を実施している。入院3日以内に退院支援アセスメントを行い、退院困難事例については早期から対応している。入院中の経過情報は診療情報提供書、看護サマリー、栄養提供書などで伝達し、継続して診療・ケアを提供している。ターミナルステージへの対応は多職種カンファレンスを実施し、患者・家族の意向を尊重しながら、DNARとなる手順を踏み、治療方針やケア計画に反映している。

<副機能：緩和ケア病院>

緩和ケア外来は予約制としており、緩和ケア病棟入棟のための面談や、外来で症状緩和が必要な患者に対応している。入棟面談で必要な患者の情報を収集し、入院や転院までの待ち日数を減らすよう努めている。緊急の受診には速やかに対応するなど、適時に入院できる体制を整備している。入院後は医師・看護師を中心に多職種によるチームで、患者・家族の意向を反映した診療計画とケア計画を作成し、緩

和ケアを行っている。薬剤師は入院患者の調剤、服薬指導、医師に対して処方提案を行っている。管理栄養士は患者の嗜好調査を行い、可能な限り希望に沿った食事を提供している。療法士は日常生活動作の自立性保持のために必要な患者にリハビリテーションを実施している。多職種カンファレンスにおいて患者の症状緩和について検討し、適切に対応している。退院前には退院前カンファレンスを開催し、患者・家族の希望に沿った在宅療養に繋げている。退院後の病状悪化に対する緊急の入院には平日のみならず、夜間・休日も対応している。臨死期におけるケアは患者・家族の希望を尊重し、多職種が協働して病状の変化に応じて対応している。看取りの時期には、希望する看取りができるように配慮している。逝去後は遺族に手紙を送付して悲嘆のケアに努め、デスカンファレンスを行い、ケアの振り返りを行っている。

9. 良質な医療を構成する機能

薬剤師は処方鑑査を行い、疑義照会し、調剤鑑査を経て病棟に薬剤を払い出している。検体検査は迅速かつ安全に実施し、超音波検査などの生理検査もプライバシーに配慮した環境下で実施しているが、パニック値の報告は、医師に直接、確実に伝達することを期待したい。CT や MRI などの診断装置が整備され、24 時間 365 日体制で安全に配慮しながら、対応している。HACCP に基づいた食材の保管、調理、清掃を行い、温・湿度の管理や衛生面に配慮して適切に対応している。急性期から退院まで心血管、脳血管、運動器、呼吸器リハビリテーションを行っている。患者の情報は、1 患者 1ID で管理し、全退院患者の量的点検を実施するなど、診療情報を適切に管理している。医療機器マニュアルを整備し、夜間・休日はオンコール体制をとり、日々のラウンドを行うなど、医療機器を適切に管理している。滅菌業務は、滅菌技師の資格を有する看護師などを中心に、一連の業務はワンウェイ化され、各種インディケータを用いて滅菌の質保証に努めている。

病理診断機能は、病理組織診断を外部委託している。院内では、大学病院から派遣される病理医の指導の下、資格を有する臨床検査技師が細胞診などに対応している。非常勤放射線治療専門医と診療放射線技師は症例ごとにカンファレンスを行い、治療計画の作成とシミュレーションを行っている。輸血・血液管理部門は、責任医師が業務全般を監督し、臨床検査科が一元的に管理している。手術・麻酔機能では、適切な術中監視モニター下で管理しており、手術室入室後から術中、退室時までの安全確認は適切である。救急医療機能は、夜間・休日を含めて多くの救急患者を受け入れ、地域の二次救急医療に貢献している。

10. 組織・施設の管理

会計処理は、病院会計準則に準じた岐阜県農業協同組合経理規程に基づいて行っている。決算と実績の比較や他院のベンチマークなどの経営状況の分析により、課題を抽出し、経営改善に結びつけている。施設基準を確認し、関係部署と調整を行っている。清掃、食事、設備の管理、SPD、リネンなどを業務委託しており、業務日誌や業務報告書により業務状況を確認している。

病院の規模や診療機能等に応じた施設・設備を整備し、年間保守計画に基づき、各種法定点検および日常設備点検を実施している。緊急・障害が発生した場合には24時間体制で対応する体制であり、院内には連絡体制のフローチャートが周知されている。診療材料等は、各部署からの要請に基づき、医療材料検討委員会で検討を経て調達している。地域災害拠点病院ではないがDMATに準ずる医療支援チームを編成し、災害発生時の対応体制を整えている。委託警備員が24時間体制で巡視し、防犯カメラのモニター監視、ICカードによる施錠管理、緊急時の対応など、保安体制は適切である。医療事故発生時の対応手順や原因究明、再発防止に向けた取り組み、訴訟時の対応手順を明確にしている。

1 1. 臨床研修、学生実習

協力型臨床研修病院であり、指導医のもとで初期臨床研修プログラムを実施している。医師を除く各職種の初期研修については、岐阜県厚生連の主催による集合研修を行っており、その後、多くの職種が病院にて初期研修を実施している。

看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医療事務を目指す多くの学生を積極的に受け入れている。実習を受け入れる際の契約書には、実習時の事故対応、守秘義務などについて明文化している。学生が病棟実習で患者を担当する場合には、患者・家族にあらかじめ説明のうえ承諾が得られている。

1 患者中心の医療の推進

評価判定結果

1.1	患者の意思を尊重した医療	
1.1.1	患者の権利を明確にし、権利の擁護に努めている	A
1.1.2	患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている	B
1.1.3	患者と診療情報を共有し、医療への患者参加を促進している	A
1.1.4	患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している	A
1.1.5	患者の個人情報・プライバシーを適切に保護している	B
1.1.6	臨床における倫理的課題について継続的に取り組んでいる	B
1.2	地域への情報発信と連携	
1.2.1	必要な情報を地域等へわかりやすく発信している	B
1.2.2	地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している	A
1.2.3	地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている	S
1.3	患者の安全確保に向けた取り組み	
1.3.1	安全確保に向けた体制が確立している	A
1.3.2	安全確保に向けた情報収集と検討を行っている	A
1.4	医療関連感染制御に向けた取り組み	
1.4.1	医療関連感染制御に向けた体制が確立している	A
1.4.2	医療関連感染制御に向けた情報収集と検討を行っている	B
1.5	継続的質改善のための取り組み	
1.5.1	患者・家族の意見を聞き、質改善に活用している	B
1.5.2	診療の質の向上に向けた活動に取り組んでいる	B

1.5.3	業務の質改善に継続的に取り組んでいる	B
1.5.4	倫理・安全面などに配慮しながら、新たな診療・治療方法や技術を導入している	B
1.6	療養環境の整備と利便性	
1.6.1	患者・面会者の利便性・快適性に配慮している	A
1.6.2	高齢者・障害者に配慮した施設・設備となっている	A
1.6.3	療養環境を整備している	A
1.6.4	受動喫煙を防止している	A

2 良質な医療の実践 1

評価判定結果

2.1	診療・ケアにおける質と安全の確保	
2.1.1	診療・ケアの管理・責任体制が明確である	B
2.1.2	診療記録を適切に記載している	B
2.1.3	患者・部位・検体などの誤認防止対策を実践している	B
2.1.4	情報伝達エラー防止対策を実践している	B
2.1.5	薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している	B
2.1.6	転倒・転落防止対策を実践している	A
2.1.7	医療機器を安全に使用している	A
2.1.8	患者等の急変時に適切に対応している	A
2.1.9	医療関連感染を制御するための活動を実践している	A
2.1.10	抗菌薬を適正に使用している	A
2.1.11	患者・家族の倫理的課題等を把握し、誠実に対応している	A
2.1.12	多職種が協働して患者の診療・ケアを行っている	A
2.2	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.2.1	来院した患者が円滑に診察を受けることができる	A
2.2.2	外来診療を適切に行っている	A
2.2.3	診断的検査を確実・安全に実施している	A
2.2.4	入院の決定を適切に行っている	A
2.2.5	診断・評価を適切に行い、診療計画を作成している	B
2.2.6	患者・家族からの医療相談に適切に対応している	A
2.2.7	患者が円滑に入院できる	A

2.2.8	医師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.9	看護師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.10	投薬・注射を確実・安全に実施している	A
2.2.11	輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	A
2.2.12	周術期の対応を適切に行っている	B
2.2.13	重症患者の管理を適切に行っている	A
2.2.14	褥瘡の予防・治療を適切に行っている	A
2.2.15	栄養管理と食事指導を適切に行っている	A
2.2.16	症状などの緩和を適切に行っている	A
2.2.17	リハビリテーションを確実・安全に実施している	B
2.2.18	安全確保のための身体抑制を適切に行っている	A
2.2.19	患者・家族への退院支援を適切に行っている	A
2.2.20	必要な患者に継続した診療・ケアを実施している	A
2.2.21	ターミナルステージへの対応を適切に行っている	A

3 良質な医療の実践 2

評価判定結果

3.1	良質な医療を構成する機能 1	
3.1.1	薬剤管理機能を適切に発揮している	A
3.1.2	臨床検査機能を適切に発揮している	B
3.1.3	画像診断機能を適切に発揮している	A
3.1.4	栄養管理機能を適切に発揮している	A
3.1.5	リハビリテーション機能を適切に発揮している	A
3.1.6	診療情報管理機能を適切に発揮している	A
3.1.7	医療機器管理機能を適切に発揮している	A
3.1.8	洗浄・滅菌機能を適切に発揮している	A
3.2	良質な医療を構成する機能 2	
3.2.1	病理診断機能を適切に発揮している	A
3.2.2	放射線治療機能を適切に発揮している	A
3.2.3	輸血・血液管理機能を適切に発揮している	A
3.2.4	手術・麻酔機能を適切に発揮している	B
3.2.5	集中治療機能を適切に発揮している	NA
3.2.6	救急医療機能を適切に発揮している	A

4 理念達成に向けた組織運営

評価判定結果

4.1	病院組織の運営と管理者・幹部のリーダーシップ	
4.1.1	理念・基本方針を明確にしている	A
4.1.2	病院管理者・幹部は病院運営にリーダーシップを発揮している	A
4.1.3	効果的・計画的な組織運営を行っている	A
4.1.4	情報管理に関する方針を明確にし、有効に活用している	A
4.1.5	文書管理に関する方針を明確にし、組織として管理する仕組みがある	A
4.2	人事・労務管理	
4.2.1	役割・機能に見合った人材を確保している	A
4.2.2	人事・労務管理を適切に行っている	A
4.2.3	職員の安全衛生管理を適切に行っている	A
4.2.4	職員にとって魅力ある職場となるよう努めている	A
4.3	教育・研修	
4.3.1	職員への教育・研修を適切に行っている	A
4.3.2	職員の能力評価・能力開発を適切に行っている	A
4.3.3	専門職種に応じた初期研修を行っている	A
4.3.4	学生実習等を適切に行っている	A
4.4	経営管理	
4.4.1	財務・経営管理を適切に行っている	A
4.4.2	医事業務を適切に行っている	A
4.4.3	効果的な業務委託を行っている	A

4.5 施設・設備管理

4.5.1 施設・設備を適切に管理している A

4.5.2 物品管理を適切に行っている A

4.6 病院の危機管理

4.6.1 災害時の対応を適切に行っている A

4.6.2 保安業務を適切に行っている A

4.6.3 医療事故等に適切に対応している A

機能種別：緩和ケア病院（副）

2 良質な医療の実践 1

評価判定結果

2.2	チーム医療による診療・ケアの実践	
2.2.1	来院した患者が円滑に診察を受けることができる	A
2.2.2	外来診療を適切に行っている	A
2.2.3	地域の保健・医療・介護・福祉施設等から患者を円滑に受け入れている	A
2.2.4	緩和ケアに必要な診断的検査を確実・安全に実施している	A
2.2.5	入院の決定を適切に行っている	A
2.2.6	診断・評価を適切に行い、診療計画を作成している	A
2.2.7	診療計画と連携したケア計画を作成している	A
2.2.8	患者・家族からの医療相談に適切に対応している	A
2.2.9	患者が円滑に入院できる	A
2.2.10	医師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.11	看護師は病棟業務を適切に行っている	A
2.2.12	患者主体の診療・ケアを心身両面から適切に行っている	A
2.2.13	投薬・注射を確実・安全に実施している	A
2.2.14	輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	A
2.2.15	褥瘡の予防・治療を適切に行っている	A
2.2.16	栄養管理・食事指導と提供を適切に行っている	A
2.2.17	症状緩和を適切に行っている	A
2.2.18	リハビリテーションを適切に行っている	A
2.2.19	自律支援および QOL 向上に向けて取り組んでいる	A

2.2.20	身体抑制を回避するための努力を行っている	A
2.2.21	患者・家族への退院支援を適切に行っている	A
2.2.22	必要な患者に継続した診療・ケアを実施している	A
2.2.23	臨死期への対応を適切に行っている	A

年間データ取得期間： 2021年 4月 1日～2022年 3月 31日
 時点データ取得日： 2022年 4月 1日

I 病院の基本的概要

I-1 病院施設

- I-1-1 病院名： 岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院
 I-1-2 機能種別： 一般病院2、緩和ケア病院(副機能)
 I-1-3 開設者： 厚生連(厚生農業協同組合連合会)
 I-1-4 所在地： 岐阜県山県市高富1187-3

I-1-5 病床数

	許可病床数	稼働病床数	増減数(3年前から)	病床利用率(%)	平均在院日数(日)
一般病床	230	206	+2	57.5	14.9
療養病床	54	54	-6	73.4	102.7
医療保険適用	54	54	-6	73.4	102.7
介護保険適用					
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
総数	284	260	-4		

I-1-6 特殊病床・診療設備

	稼働病床数	3年前からの増減数
救急専用病床		
集中治療管理室(ICU)		
冠状動脈疾患集中治療管理室(CCU)		
ハイケアユニット(HCU)		
脳卒中ケアユニット(SCU)		
新生児集中治療管理室(NICU)		
周産期集中治療管理室(MFICU)		
放射線病室		
無菌病室		
人工透析	28	+3
小児入院医療管理料病床		
回復期リハビリテーション病床		
地域包括ケア病床	58	-2
特殊疾患入院医療管理料病床		
特殊疾患病床		
緩和ケア病床	28	+4
精神科隔離室		
精神科救急入院病床		
精神科急性期治療病床		
精神療養病床		
認知症治療病床		

I-1-7 病院の役割・機能等

DPC対象病院(Ⅲ群)

I-1-8 臨床研修

I-1-8-1 臨床研修病院の区分

- 医科 1) 基幹型 2) 協力型 3) 協力施設 4) 非該当
 歯科 1) 単独型 2) 管理型 3) 協力型 4) 連携型 5) 研修協力施設
 非該当

I-1-8-2 研修医の状況

研修医有無 1) いる 医科 1年目： 人 2年目： 人 歯科： 人
 2) いない

I-1-9 コンピュータシステムの利用状況

電子カルテ 1) あり 2) なし 院内LAN 1) あり 2) なし
 オーダリングシステム 1) あり 2) なし PACS 1) あり 2) なし

